

第6戦/9月17日(土)・18日(日):スポーツランドSUGO

#37 KeePer TOM'S GR Supra

着実に順位を上げて6位まで浮上するも9位の結果に。

タイムが伸び悩む状況であったが、セットアップの変更によって改善され、予選に臨んだ。宮田莉朋選手がステアリングを握る。結果は10番手で予選Q1突破はならなかった。決勝はグリッド中段以降から、できるだけ多くのポイントゲットを目標にスタート。台風14号が影響して、翻弄される。1周目に一つポジションを下げて11位で走行。雨が降り始めて16周してレインタイヤに交換。ウエットコンディションでペースアップし、6位まで順位を上げて36周目にドライバー交代を行った。タイヤはレインを装着してコースイン。残り周回数3分の1を残して路面が乾き始めた。そこで再度ピットインしてスリックタイヤに交換。ポイント獲得圏外に順位を落としてしまうが、その後追いついて9位へ#100との終盤のバトルで10位へ後退。レース後に#36のペナルティで9位に繰り上げとなった。



#61 SUBARU BRZ R&D SPORT

雨に翻弄され、8位フィニッシュ。

予選ではポールポジションを獲得。スタートは井口卓人選手が担当し、レーススタート。井口選手はホールショットを決めるが、後続マシンのコースアウトがありオープニングラップからセーフティカーが入るといふ、波乱を予感させる展開。リスタート直後は2番手に0.767秒の差をつけ、その翌周には1.7秒にまで差を広げ、10周を終えたときには4.7秒まで広げ独走体制を作る。しかし13周目あたりで雨が降り出す。早めにレインタイヤへ交換、井口選手は10番手でコースに復帰、5位まで挽回するも、雨は弱まり、逆にタイムを落としてしまう。早めに山内英輝選手と交代。17位まで順位を下げる。その後ドライ路面に変化したため、再びピットインし、スリックに交換。順位を挽回するが、先行するマシンの追い抜きが厳しく8位でチェッカーとなった。



【ドライバーランキング(GT500)】(10月3日現在)

No.	チーム名	選手名	ポイント
3	CRAFTSPORTS MOTUL Z	千代 勝正/高星 明誠	58
12	カルソニック IMPUL Z	平峰 一貴/ベルトラン・バゲット	55.5
17	Astemo NSX-GT	塚越 広大/松下 信治	54
100	STANLEY NSX-GT	山本 尚貴/牧野 任祐	41
37	KeePer TOM'S GR Supra	サッシャ・フェネストラス/宮田 莉朋	38

第7戦/10月1日(土)・2日(日):オートポリス

#37 KeePer TOM'S GR Supra

9位フィニッシュ。諦めることなく、最終戦のもてぎに臨む！

トップから18ポイント差で第7戦のオートポリスに乗り込む。予選はQ2進出ならず。予選Q1で、最終コーナーの立ち上がりでハーフスピンをしたため、タイヤ4本にフラットスポットができ、タイヤ交換をしてからコースインせざるを得ず、決勝はピットスタートとなった。スタートとともに、タイヤ交換を開始して、GT500・GT300クラスの全車がスタートラインを通過してから、#37がレースに加わる。第1スティントではロングラップ作戦をとった。早めのピットイン作戦のチームが多く、ロングラップのチームの中ではピットインまで2位を走行。一人のドライバーの最大周回数近くまで走行してピットイン、ドライバー交代。ポイント獲得圏外まで順位を落としたが、追いついて9位フィニッシュ。最終戦にチャンピオン獲得の可能性を残している。



#61 SUBARU BRZ R&D SPORT

シリーズ連覇に繋がる2位を獲得！最終戦は見逃せない！

ポールポジションからのスタート。今季7戦中4戦でポールを獲得することができた強いBRZ GT300に期待が膨らむ。スタートは井口卓人選手が担当。ローリングスタートからキレイにホールショットを決めトップに。背後に#52が迫る。10周目までテールツーノーズの競い合いをするも、このトップ2台だけが飛び抜けて速く、3番手#88には8秒以上のリードを築く。しかし、井口選手はGT500クラスのトップに追いつかれた時点でインを開けたところ#52にかわされ2位に。毎ラップで1秒以上離されていく。25周目にピットイン、山内英輝選手に交代。ニュータイヤを装着してコースに戻る。トップ#52とは8秒程度のギャップがあったが、最大2.9秒まで詰め寄るものの、捉えるまでにはいかない。途中FCYが入ったこともあり、最後は使い切ったタイヤで必死の2位フィニッシュとなった。



【ドライバーランキング(GT300)】(10月3日現在)

No.	チーム名	選手名	ポイント
56	リアライズ日産メカニックチャレンジGT-R	藤波 清斗/ジオアオ・パオロ・デ・オリベira	52
61	SUBARU BRZ R&D SPORT	井口 卓人/山内 英輝	49.5
10	TANAX GAINER GT-R	大草 りき	46
10	TANAX GAINER GT-R	富田 電一郎	42
52	埼玉トヨベットGB GR Supra GT	川合 孝汰	37

残るは、第8戦(最終戦)！11月5日(土)・6日(日)、モビリティリゾートもてぎにて開催です。応援よろしくをお願いします！

技術情報

新メニュー「細密研磨」 「軽研磨」と「鏡面研磨」を「細密研磨」に統一しました。

「細密研磨」とは、塗装の厚みは変えず、キズのエッジ部分だけを磨き取る細密な研磨です。キズを消すことや、ボディの汚れ落としをすることはできません。

「ポリッシュ」「道具」の進化で切削することなく十分な光沢を実現

新ダブルアクションポリッシャー(ルベス)と、今年発売の新ポリッシュ「アクアポリッシュ2」の併用で、仕上がりが大きく向上しました。従来の鏡面研磨のように切削することなく、塗装表面を細密に研磨し整えることで、十分な光沢を実現します。

仕上げには必ず「キーパーコーティング」を

研磨工程で得た光沢を保護するとともに、キーパーコーティングの塗装面をさらに平滑する相乗効果で、新車のような光沢がいつまでも続きます。

私たちは、大切な愛車とのカーライフを守るため、必要以上に塗装表面を切削せずに、美観を保持できること(技術)が重要であると考えます。



■新メニュー「細密研磨」 作業時間:1時間~

SS	18,060	L	22,800
S	19,960	LL	25,200
M	21,600	XL	別途見積もり

(単位は円、税込)

「快洗Jr.5RO」「快洗Jr.5N」の受注再開と仕様改善のご案内

快洗Jr.5は大変好評いただき、予想を遥かに上回るペースで受注いただきましたが、部品調達が遅れているため生産能力が追い付かず、8月より受注を一旦休止しておりましたが、受注を再開いたします。

快洗Jr.5は仕様改善し、すべての部品が安定供給できるものに改善しました。さらに、一部より使いやすい仕様に改善・改良(\*)しています。それに伴い、バックオーダー分を含め、急ピッチで生産が進んでいます。

※快洗Jr.5の変更箇所

- ①機械の制御部品を「電源基盤」から「リレー」に変更。
- ②押しやすく、分かりやすい「停止ボタン」を追加。
- ③故プロセスポンプを、新型チューブポンプに改善。

